

環境パフォーマンス

(絶対量)			
項 目	単 位	2017年度	2018年度
エネルギー	kL/年 (原油換算)	8,421	9,023
CO ₂	t-CO ₂ /年	15,910	16,712
水	m ³ /年	71,453	86,630
産業廃棄物排出量	kg/年	475,464	460,048
排水量 (排水処理施設)	m ³ /年	20,084	30,604

大気関係

項 目	施設名	法・公的 規制	自主 管理基準	実測値		
				平均値	最大値	測定頻度
対象外				—		

大気関係 排出総負荷量

項 目	排出総負荷量	
	2017年度	2018年度
対象外	—	

水質関係

項 目	単 位	法・公的 規制	自主 管理基準	実測値		
				平均値	最大値	測定頻度
水素イオン濃度 (pH)	mg/L	5.8～8.6	6.3～8.1	7.1	7.5	1回/月※
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	160	9	0.5未満	1	1回/月
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	160	9	2.5	3.7	1回/月※
浮遊物質 (SS)	mg/L	200	4.5	2未満	3.7	1回/月
ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	5	4.5	1未満	1未満	1回/6ヵ月
大腸菌群数	個/cm ³	3,000	315	30未満	43	1回/月
窒素	mg/L	120	54	5.6	16	1回/月※
燐	mg/L	16	7.2	0.02	0.04	1回/月※

※計量証明事業者による1回/月の分析に加えて、自動分析装置で2時間ごとに分析

水質関係 排出総負荷量

項 目	排出総負荷量	
	2017年度	2018年度
化学的酸素要求量 (COD)	0.03	0.08
生物化学的酸素要求量 (BOD)	0.02	0.02

PRTR対象物質

物質番号	対象物質	取扱量	(単位:トン)							
			排出量			移動量		その他の量		
			大気排出	水域排出	土壌排出	廃棄物	下水道	リサイクル	消 費	除去処理
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸およびその塩	5.6	0	0	0	0	0	0	5.6	0
31	アンチモンおよびその化合物	1.8	0	0	0	0	0	0	1.8	0
412	マンガンおよびその化合物	24.1	0	0	0	0	0	0	24.1	0
報告対象物質合計		31.5	0	0	0	0	0	0	31.5	0

環境保全効果

効果内容	投資金額 (千円/年)	効果金額 (千円/年)	効果量
エネルギー削減	2,210	1,044	7 kL/年 (原油換算)
廃棄物削減		0	0
水削減		0	0
その他		1,350	—
合 計	2,210	2,394	



Tamaki Plant Sustainability Report 2019

京セラドキュメントソリューションズ 玉城工場サステナビリティレポート

工場長あいさつ

『お伊勢さん』の西隣り三重県玉城町に位置する玉城工場は、各種トナー (複合機やプリンター用の静電複写印刷で、紙に転写される顔料の粉) の開発から生産までを担うトナー生産の主力工場です。この重要な事業活動を永続的に成長・発展させ続けるため、当工場ではCSR活動 (企業の社会的責任) に積極的に取り組んでいます。玉城工場の周辺は、豊かな自然環境に恵まれており、住宅地、農作地にも隣接しています。そのため特に「環境保全」、「地域との共生」、「安全な職場の実現」を最重要課題に掲げています。

「環境保全」については、工業排水、粉塵などを対象に法令より厳しい自主管理基準を定めて、管理を徹底しています。このような環境への取り組み状況は、定期的にCSR報告会を開催し、地域住民の皆さま、お取引先さま、地元の行政機関の皆さまに報告しています。

「地域との共生」については、近隣地域施設の清掃活動などに積極的に参加させていただくとともに、毎年夏には「夏祭り」を開催し、多数の地域住民の皆さまに会場いただき、友好的な関係を築くよう努めています。

「安全な職場の実現」については、社内基準の「パーフェクト5S」 (すなわち完璧な5S: 整理・整頓・清掃・清潔・躰) を実践し、社員が安心して働くことのできる職場環境づくりに取り組んでいます。

2018年度 環境目標と実績

環境目的	項 目	2018年度目標	2018年度実績	結 果	コメント
低炭素社会への 貢献	温室効果ガス排出量原単位の削減 [kg-CO ₂ /t] 原単位分母: トナー生産量	2017年度比 1.0%削減	2017年度比 7.3%削減	達成	省エネ施策の実施により、 原単位を改善
	エネルギー使用量 (原油換算量) 原単位の削減 [kL/kg] 原単位分母: トナー生産量	2017年度比 1.0%削減	2017年度比 4.8%削減	達成	省エネ施策の実施により、 原単位を改善
循環型社会への 貢献	産業廃棄物排出量原単位の削減 [kg/kg] 原単位分母: トナー生産量	2017年度比 1.0%削減	2017年度比 11.6%削減	達成	排水設備の改善により、産業廃棄物として 廃棄される汚泥の量を削減
	水使用量原単位の削減 [m ³ /kg] 原単位分母: トナー生産量	2017年度比 1.0%削減	2017年度比 16.7%削減	達成	生産効率の改善により、 設備冷却水を削減

地域社会とともに

CSR報告会を開催

三重県、玉城町の行政官庁、地元地区代表、お取引先の皆さまなど、27名をお招きして、第14回CSR報告会を開催しました。

当社全体のCSR活動、玉城工場の環境安全活動の概要の説明の後、トナーコンテナの全自動化ラインや排水処理施設をご覧ください、最後に玉城町の田間副町長より、社会貢献活動、環境安全活動へのお礼とともに、工場のさらなる発展に期待する旨のご講評をいただきました。



CSR報告会での報告

Kids'ISO 14000環境出前授業を実施

三重県では、三重県環境基本計画を踏まえ、環境教育の実践活動として、県内の小学校児童が家庭における省エネルギーなどの活動を通じて環境への関心を高める「Kids'ISO 14000プログラム(入門編)」の取り組みを推進しています。

このプログラムに協力し、玉城町の全4小学校で、出前授業を行いました。保護者や先生方からは「省エネに対する意識向上の良い機会になった」という言葉をいただきました。



出前授業

中学生職場体験学習を実施

地域の青少年育成活動の一環として、玉城町内の中学生の職場体験を積極的に受け入れています。

2018年度の中学生の職場体験では、海外からのお客さまのお出迎え対応や製品出荷、品質管理の補助作業、簡単な基板製作などを体験していただきました。

生徒たちは慣れない作業に戸惑いながらも懸命に作業し、無事3日間の体験学習を終えることができ、生徒からは、「さまざまな経験ができ、楽しい時間を過ごすことができました。」との感想をいただきました。



体験学習

田丸城址クリーン作戦に参加

当工場がある玉城町には、町民の憩いの場となっている田丸城址があります。この場所をきれいに保つために、5月27日および10月14日、玉城町主催の「田丸城址クリーン作戦」が実施され、5月度は当工場から42名が、10月度は34名がそれぞれ参加し、全員で分担して清掃しました。



清掃活動を行う従業員

夏祭りを開催

近隣住民の皆さまやお取引先さま、社員とその家族合わせて約1,700名に来場いただきました。

ヨーヨーや輪投げなどの模擬店、お取引先さまにご提供いただいたアトラクション、地元のダンススタジオ、スタジオ・アーリーさまによるエネルギッシュなダンスが、大変好評でした。最後は、夏の風物詩として毎年恒例となった迫力満点の「打ち上げ花火」で楽しい夏祭りを締めくくりました。



迫力満点の花火

環境保全活動

当工場社員が平成30年度 エネルギー管理功労賞を受賞

当工場 環境施設課所属の岡田功貴さんが、中部地方電力使用合理化委員会から「平成30年度 エネルギー管理功労賞」を授与されました。

岡田さんはこれまでに、エネルギー効率のよい空調設備への更新、負荷の集約による変圧器の削減/高効率変圧器への更新、工場内照明のLED化などを推進しており、その功績を認められての表彰となりました。



表彰状授与式

社員とともに

労働安全衛生・健康管理の取り組み

労働災害撲滅や社員の健康管理を目的として、毎月実施している全体朝礼時に、京セラグループの労働災害の報告や、保健師から熱中症、インフルエンザ、感染予防、健康診断結果の活用法などの健康管理のアドバイスをを行い、労働安全衛生の啓発活動を推進しています。

労働安全衛生の取り組みとしては、日頃の安全衛生改善活動、リスクアセスメントやヒヤリハット活動を展開しています。また、毎月の工場長や安全管理者の安全衛生パトロール、毎週の衛生管理者パトロールのほか、半年に1回京セラドキュメントソリューションズグループ環境安全統括者の安全衛生パトロールを行い、不安全な箇所や作業がないことを確認しています。



健康セミナー

防災への取り組み

三重県は南海トラフの巨大地震発生予想地域であり、日頃より災害発生時の被害を最小限にとどめられるように、緊急地震速報システムを設置するとともに、防火防災訓練を定期的に実施しています。

防火防災訓練では、緊急地震放送による自分自身の身を守る初動訓練、火災発生を想定した通報連絡や初期消火訓練、全員参加による避難訓練を行っています。また、AED使用訓練、屋外消火栓操作訓練などのほか、2012年より夜間の災害発生に備えた夜間防災訓練を加え、災害発生時の対応強化を図っています。



夜間防災訓練

構内通路での安全確保の取り組み

当工場では、構内屋外通路における歩行者の通行帯を緑色で区別することにより、構内歩行者専用通路の設定を行いました。これにより、社員はもちろん、外部入場者においても通行区分が明確となり構内通行の安全確保に大きく寄与することができました。



構内歩行者専用通路

